

# 地下労働に 労働条件を ふさわしい



発行所  
三池炭鉱労働組合  
大牟田市入船町1番地  
電話(53)3033-4  
編集兼 杉本 一男  
発行人  
半年間 1,200円 送料共  
振替口座番号  
労金大牟田  
0968946-005

## 新年 特集号

## 迎春

今年も生命と生活、平和と民主主義を守り、政治の革新のためにたたかい抜きましょ。

三池炭鉱労働組合



きびしいたたかいに向けて決意を新たにす仲間たち  
〈1番方の作業を終え、三川鉱の第2斜坑口で〉

### 生命と生活を守る真の石炭政策確立へ

## 課題遂行のために 団結して頑張ろう

組合長 中原 一

れ、十六人がCO中毒に冒され、という大災害が引き起こされました。また、有明鉱大災害後も十月、十一月さらに十二月と連続して四人の命が奪われ、重大災害につながるような事故も頻発しています。この相次ぐ災害は、会社の生産第一の姿勢と合理化強行による慢性的な人員不足によるものであり、会社の責任は明らかです。抜本的対策こそ必要です。

このような情勢の中で、三池労組が果たす役割りと運動の課題は山積しています。この課題を遂行するためにさらに団結を固め、一九八五年が労働者にとって平和で、明るく豊かな未来への第一歩の年になるように頑張ります。

問題が「カネやタイコ」でもはやされていきますが、きびしい反動化攻撃の中で政治的にも経済的にも、労働者階級のたたかいは必ずしも有効なものとなっていません。しかし、反動化攻勢が強まれば強まるほど、生産点や生活の場では階級的矛盾が一層激化しているのが現実です。



炭鉱労働者の歴史は、労働災害とのたたかひの歴史であり、私たちは災害絶滅のために全力をあげるとともに、人並みの労働条件を獲得し、真の石炭政策の確立を目指してたたかっています。一方、中曽根政権の誕生以降「三海峡封鎖」や「日本列島不沈空母」の発言にみられるように、その軍拡路線はとどまるところを知らず、また国家財政の再建を大義名分にした行・財政改革を強行し、国民諸階層に一層の犠牲をおしつけています。

三池炭鉱に働く労働者と家族の皆さん、全国の仲間、皆さん、明けましておめでとごございます。昨年をふり返ってみますと、まことに残念なことですが、私たち炭鉱労働者とその家族にとっては、災害に明け災害に暮れた悔いの残る年でした。

労働運動の面では、右翼的再編を意図する労戦統一

新年のお屠蘇気分がまだ抜けきらない一月十八日、有明鉱の坑内火災で八十三人の「炭掘る仲間」が殺さ